「まち×未来」でみえること。

亀山市市勢要覧

Kameyama City Municipal Handbook

「まち×　未来」でみえること。

豊かな自然と
歴史文化が息づくなかに
人と人との繋がりや
健やかな暮らしが溢れる、緑の健都。
心地いいことが新しい、
まちの未来が煌めく
「亀山」という名の居場所。

What We See in the Future of Our City
A livable city with greenery, which is blessed with rich natural environments and historical and cultural traditions. A city with healthy daily lives and harmonious relations with one another.
"Kameyama" is definitely a place with a brilliant future, where something fresh and pleasant happens from time to time to inspire its residents.

CONTENTS

三重県 亀山市
市制施行15周年 市勢要覧

Kameyama City
Municipal Handbook

このまちで暮らす人々 03

まちの未来を拓く
- 健康都市の実現 05
- 街道文化の伝承 07
- にぎわいの再生 09
- 源流域である誇りと愛着 11
- 魅力ある交流拠点の形成 13

四季の移ろい 15
伝統と躍動 17
歴史・文化探訪 19

まちの未来を創る
- 安心・安全 21
- 福祉・医療 23
- 産業・地域交通 25
- 環境 27
- 教育・文化・スポーツ 29
- 子育て・定住 31
- 市民協働・共生社会 33

市議会 35
名誉市民 37
資料編 38
市の情報 46

このまちで自分らしく生きていく。

ここに私の居場所がある。これからも、

Open up the future

まちの未来を拓く

01

健康都市の実現

Realization of a “Healthy City”

都市の機能すべてで市民の健康寿命を延ばす取り組みに挑戦

亀山市は、「健康は自分だけで守るものではなく、都市の機能すべてで守る」というＷＨＯ（世界保健機関）が提唱する『健康都市』の考え方に賛同し、平成22年に健康都市づくりに取り組む都市間の国際的なネットワーク「健康都市連合」に加盟しました。

亀山市が持続的に成長する『健康都市』であり続けるため、市民の健康を支える都市環境を整え、市民の主体的な健康活動を促すとともに、ライフステージに応じた健康づくり支援を行うことで、市民の健康寿命を延ばし、ＱＯＬ（クオリティ・オブ・ライフ）の維持・向上を目指しています。

その実現に向けて、市の将来都市像に「緑の健都　かめやま」を掲げ、都市全体での『健康』について、分野の枠組みにとらわれない戦略的な視点により取り組んでいます。保健と医療を連携させたデータヘルスの推進や市の特色を生かした健康づくりの取り組みのほか、市民の健康的なくらしを支える都市環境や自然、文化などと健康を結びつける取り組みを進めています。

Efforts to Extend Healthy Life Expectancy in Our City by all Functional Means

Kameyama City agreed with the “healthy city” concept proposed by the World Health Organization (WHO), which is an idea of “protecting our health not only by our own effort but also by means of all the functions of our city,” and then joined the Alliance for Healthy Cities (AFHC), an international network among cities engaged in enhancing the health of their citizens, in 2010.
In order to continuously grow as a “healthy city,” we try to extend healthy life expectancy and keep and enhance the quality of life (QOL) in our city by improving our city environment for the continued health of our citizens, promoting health activities conducted by them, and supporting their health improvement in accordance with their life stages.

ICT を活用した健康づくり

官民連携により、タブレット端末を活用して、ヘルスケアや介護予防を支援しています。

読書による健康増進

赤ちゃんに絵本を渡す「ブックスタート事業」や「ファミリー読書リレー推進事業」など、健康寿命の延伸に関係があると言われる読書を推進しています。

歯周病予防

30 歳から 70 歳まで5歳刻みの年齢を対象に、生活習慣病に関連する歯周病の予防対策を実施しています。

食による健康づくり

生涯にわたる健全な食生活の実現を目指し、関係機関と連携して食育や地産地消普及を図っています。

かめやま健康マイレージ事業

本市の特色を生かした健康づくりの取り組み（健康教室など）をポイント付加対象にするなど、独自の取り組みで市民の健康づくりのきっかけをつくっています。

Open up the future

まちの未来を拓く

02

街道文化の伝承

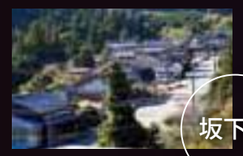
Preservation of Our Culture Established through Interactions with Travelers

亀山市は、古くから東西文化が交流する地として、また、東海道・大和街道・伊勢別街道が交わる地として栄えてきました。旅人たちからもたらされた文化は、様々な形でこの地に根づき、長い年月の中で少しずつ姿を変えながら、現在の亀山市固有の歴史文化を形づくってきました。そこで暮らす人々と旅人たちの交流から生まれた街道文化は、市民と共に受け継がれ、次世代を担う子どもたちへと伝承されていきます。

生活の中に息づく街道文化を大切にしつつ、亀山市は、歴史まちづくり法の第1号認定を受けて、歴史的風致の維持・向上に取り組んでいます。

Since ancient times, Kameyama City has enjoyed prosperity not only as a place for cultural exchanges between East and West Japan, but also as an intersection of several important roads, namely the Tokaido, Yamato Kaido and Isebetsu Kaido. A wide variety of cultures brought here by travelers first took root and then were gradually localized in many different forms with the passage of time. As a matter of course, they have contributed to the establishment of the historical and cultural traditions unique to Kameyama City today. Our culture established through interactions between travelers and local residents here will be handed down to the next generation by our citizens as ever.

東海道の宿場町



坂下宿

関宿

亀山宿

重要伝統的建造物群保存地区　関宿

昭和 59 年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された関宿では、修理・修景事業により、貴重なまちなみの保存を進めています。

■ 魅力発信・交流拠点「関の山車会館」

「関宿祇園夏まつり」で町内を巡行する山車やお囃子を後世に残すための伝承拠点となる「関の山車会館」には、迫力ある関の山車が展示されています。

■ 東追分一の鳥居 お木曳

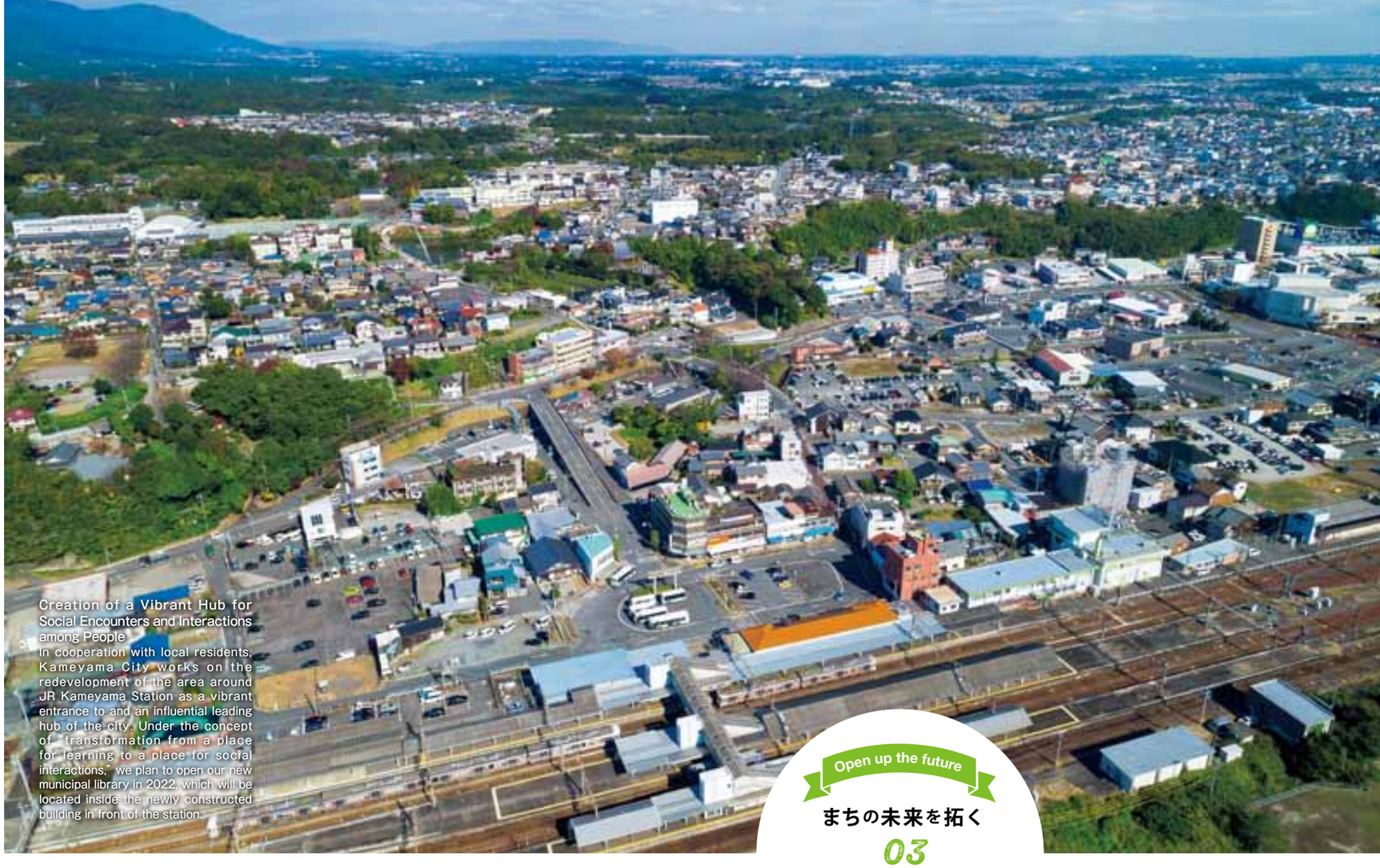
20 年に1度、伊勢神宮の式年遷宮に合わせてご用材が引き入れられ、東追分一の鳥居が建て替えられます。

鈴鹿関跡 発掘調査

平成 18 年、関町で古代東海道の関所「鈴鹿関跡」の一部が確認されました。東山道の「美濃不破関」、北陸道の「越前愛発関」と合わせて古代三関と呼ばれる我が国古代史の重要遺跡で、飛鳥時代に作られたものとされています。今後も、都を守る要衝となった関所の実態解明に向けた発掘を、継続して実施していきます。

日本武尊と弟橘媛の伝説の地

「能褒野王塚古墳」に眠るとされる、古事記や日本書紀に英雄伝説の主人公として登場する日本武尊。その妃で、「忍山神社」の神主忍山宿禰の娘とされる弟橘媛。亀山市には、この2人の伝説が色濃く残り、遥かにしえのロマンを偲ばせます。



Open up the future

まちの未来を拓く

03

にぎわいの再生

Revitalization of Our City

人々が出会い、つながり、活力が生まれる拠点づくり

亀山市は、まちの玄関口であるJR亀山駅周辺のにぎわいを再生し、市の中心的な都市拠点として求心力を高めるために、地域と共に駅周辺の再開発を進めています。JR亀山駅前には、新たに建設される再開発ビルに「学びの場からつながる場へ」をコンセプトとした新たな図書館の整備を、令和4年の完成に向け進めています。また、駅周辺には、新たに住宅や商業施設も整備されます。

一方、市街地にある東町商店街では、空き店舗を利用した「アートギャラリー」など文化芸術によるにぎわいづくりも行われています。

また、令和元年7月には、市街地と市西部を結ぶ幹線道路「市道野村布気線」・「県道亀山関線」が14年の歳月を経て完成し開通したことから、駅周辺と郊外の居住エリアを結ぶネットワーク強化はもとより、産業活動や防災機能の向上にも大きく寄与することが期待されます。

Creation of a Vibrant Hub for Social Encounters and Interactions among People

In cooperation with local residents, Kameyama City works on the redevelopment of the area around JR Kameyama Station as a vibrant entrance to and an influential leading hub of the city. Under the concept of "transformation from a place for learning to a place for social interactions," we plan to open our new municipal library in 2022, which will be located inside the newly constructed building in front of the station.

❶東町商店街で開催されたアートイベントの様子
❷市道野村布気線　❸旧国道1号沿いの商業集積

新図書館に関する市民ワークショップの様子

市民の夢や想いが詰まった新しい図書館は、市民交流や情報発信の場、展示や発表活動の場としての機能も併せ持つ多機能型図書館です。

亀山駅周辺整備事業における施設建築物の完成予想図
（平成30年11月時点）

Open up the future

まちの未来を拓く

04

源流域である誇りと愛着

Our Pride in and Affection for Our Hometown River Sources

ふるさと亀山の自然環境等を次世代に継承するために

鈴鹿川最上流域にある鈴鹿峠周辺は、いにしえより「鈴鹿」の地名の発祥の地であると言われ、山々から流れ出た水は、広範な鈴鹿川水系を形成し、その流域には、豊かな水の恩恵により貴重な歴史文化が築かれてきました。また、鈴鹿川等の源流域は、森林や農地が有する水源のかん養、土砂流出の防止など市民の暮らしを支える公益的機能も有しています。

こうした中、近年では、過疎化や少子高齢化の進展により、そこで暮らす人々だけでは、これら源流域の自然環境等を守っていくことが難しくなっています。そのため、先人たちが時代を越えて継承してきた鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源に改めて誇りを感じ、かけがえのない財産として守り、次世代に継承していかなければなりません。

亀山市は、平成31年3月に「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」を制定し、産学民官が連携・協力し、源流域の保全・活用に取り組んでいます。

産学民官の連携組織「鈴鹿川等源流の森林づくり協議会」を設立

森林や里山など鈴鹿川等源流域が育む地域資源を守り、未来へつなげるための活動を行っています。

天然記念物「ネコギギ」の保全

亀山市は、鈴鹿高等学校とネコギギの飼育協定を締結し、ネコギギの保全に取り組んでいます。

安全でおいしい水の供給

亀山市の水道水は、地下水などから供給しており、市民アンケートでは、約７割の人が「安全でおいしい水が供給されている」と回答しました。

企業が主体となった森づくり活動

味の素 AGF ㈱が「ブレンディの森」（関町沓掛 13.34ha）で、また、本田技研工業㈱が認定 NPO法人 森林の風と「Honda の森」（関町坂下 2.61ha）で、それぞれ間伐や技打ち、植樹などを行っています。

Our Natural Environments to Hand Down to the Next Generation

We are proud of the natural environments and historical resources at the head of the Suzuka River, etc., which we should protect and hand down to the next generation as our irreplaceable treasures just like our ancestors did.

In March 2019, Kameyama City enacted the "Ordinance for Conservation of the Natural Environments and Historical Resources at the Head of the Suzuka River, etc." to conserve and take advantage of such treasures of ours through close collaboration among government, industry, academia and general citizens.

Open up the future

まちの未来を拓く

05

魅力ある交流拠点の形成

Creation of an Attractive Hub for Interactions

古くからの「道」の文化が新たな交流を生み出す

亀山市は、古代には日本書紀にも登場する「鈴鹿関」と呼ばれた関所が置かれ、江戸時代には東海道五十三次の3宿の宿場町として、また、近代では「鉄道のまち」として、古くから東西交通の要衝として栄え、人・モノ・情報の交流が盛んに行われてきました。まさに、時代を越えて「道」の文化がまちの成長を支えてきました。

現在も、新名神高速道路をはじめ、高規格幹線道路などの道路網の整備が進む中で、中部・関西両圏をつなぐ広域交通網の結節点として重要な役割を担っています。

今後、新たな国土の大動脈となるリニア中央新幹線の実現とスーパーメガリージョン（巨大経済圏）の形成により、亀山市は交通の要衝としてのポテンシャルが更に高まり、広域的な連携交流や活発に産業立地が展開され、持続可能な都市として成長が期待されます。

New Interactions Created through Our Traditional Role as an "Intersection of Important Roads"

Since ancient times, Kameyama City has enjoyed prosperity as a hub for active exchanges of people, products and information between East and West Japan. Even today, our city plays an important role as a key node in the interregional traffic network between the Chubu and Kansai regions.

Through the realization of the Linear Chuo Shinkansen, which will support Japan's economy as a new main transportation artery of the country and through the constitution of super megaregion, it is now expected that we will be able to raise our potential as a more important traffic hub, promote collaborative interregional interactions and active industrial accumulation, and then grow further as a sustainable city.

交通拠点性の向上　新名神高速道路亀山西ジャンクションの完成

中日本高速道路株式会社 提供

名古屋・伊勢ランプウェイ
（令和元年12 月完成）

新名神高速道路 新四日市 JCT ～亀山西 JCT 間の開通により、東名阪自動車道の渋滞緩和と災害時に強い輸送路の確保が図られるほか、さらなる産業集積や交流の促進などが期待されます。

リニア中央新幹線の市内停車駅誘致

■リニア中央新幹線・ＪＲ複線電化推進亀山市民会議の取り組み

リニア中央新幹線の全線早期開業と市内停車駅誘致を目指し、平成４年から市民団体・企業・行政が一体となった市民会議を通じて、「LINEAR TO KAMEYAMA ～新たなステージ、夢から現実へ !!」を合言葉に、市民レベルの推進運動を積極的に展開しています。要望・啓発活動や次世代を担う子どもたちへ、リニア・鉄道親子学習会の開催などの取り組みを行っています。

リニア亀山中間駅　イメージパース

■リニア市内停車駅を見据えたまちづくり

2027 年に品川・名古屋間、さらには 2045 年から最大８年前倒しして名古屋・大阪間の開業を目指すリニア中央新幹線は、国内３大都市圏を約１時間で結び、人口７千万人の大交流リニア経済圏（スーパーメガリージョン）の形成が期待されています。亀山市では、将来、市内停車駅が設置されることを見据え、その効果を最大限に生かすために、経済効果や都市機能などについて調査・研究を進めています。

都市計画道路　鈴鹿亀山道路

新名神高速道路亀山 JCT と鈴鹿市街地の都市計画道路北勢バイパスを結ぶ延長約 10.5km の地域高規格道路である「都市計画道路　鈴鹿亀山道路」は、高速道路の利便性向上や地域活性化、災害時における道路機能の強化が期待されています。

都市計画決定に向けて、構想段階から計画段階への新たなステージに入ったところであり、県や隣接する鈴鹿市とともに早期の整備実現に向け取り組んでいます。

四季の移ろい

Viewpoint of Kameyama

関宿の雪景色

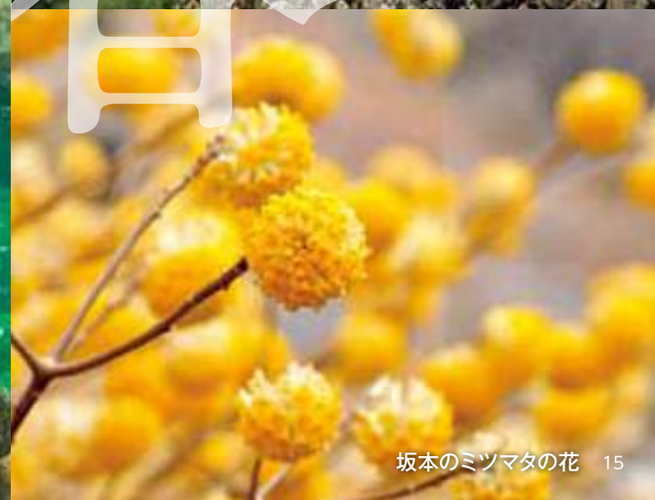
鈴鹿峠の紅葉

田園のコスモス畑

亀山公園の花しょうぶ

石水渓

亀山城多門櫓の桜



坂本のミツマタの花

市長あいさつ

新しく「令和の時代」を迎え、まちの住みやすさと市民生活は「量から質」へ、つまりアメニティとか生きがいに移ると考えます。豊かな自然、悠久の歴史文化に抱かれた亀山市。人とひとが支えあうコミュニティや健やかな家族、そして未来への静かな胎動も心地いい。この15年の歩みは、次なる未来「緑の健都」への礎であり、今を生きる50,000市民とまだ見ぬ将来世代の新たな希望です。

亀山市長　櫻井義之

Greetings from the Mayor,

As we enter the new era of Reiwa, we believe that the ease of living and civic life in the city will shift from quantity to quality. In other words, amenities and purpose of life will increase.
Kameyama City is surrounded by nature, eternal history and culture. It is a community where people support each other and where the peaceful movement to the future will be pleasant. The past fifteen years was the cornerstone of a future with greenery and it's also the hope of 50,000 people living now and for future generations to come.

Mayor of Kameyama Sakurai Yoshiyuki

伝統と躍動

Viewpoint of Kameyama

古くからこの地に
受け継がれる祭りの数々。
それぞれの時代に
生きる人々の想いを継ぎ、
まちの魅力を高めています。

かんこ踊り（市内各所） 8·10月

太岡寺畷さくらまつり（太岡寺町） 4月

東海道関宿街道まつり（関宿一帯） 11月

関宿納涼花火大会（鈴鹿川河川敷） 8月

亀山大市（東町・本町） 1月

東海道のおひなさま 亀山宿・関宿 2·3月
（東海道亀山宿・関宿街道沿い）

花しょうぶまつり（亀山公園菖蒲園） 6月

亀山市納涼大会（亀山公園） 8月

関宿祇園夏まつり（関宿一帯） 7月

歴史・文化探訪

Viewpoint of Kameyama

亀山7座トレイル 1～7

鈴鹿山脈や布引山地を代表する7つの山々（仙ヶ岳、野登山、臼杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳）を結ぶ登山ルート"亀山7座トレイル"を開発し、新たな観光資源として次世代へ継承していくために、魅力発信、トレイル（自然道）の整備などに取り組んでいます。

1 野登寺本堂 附庫裡・鐘楼

（市指定有形文化財）

醍醐天皇の勅願により建立。910年に開堂供養を行ったと伝えられる古刹です。

2 峯城跡（県指定史跡）

鈴鹿川の支流である安楽川と八島川が合流する丘陵上にある関５家のひとつ峯氏の居城跡。虎口・二の丸・本丸があり、かなり大きな城でした。

7 正法寺山荘跡

（国指定史跡）

鎌倉時代～戦国時代にこの地域一円を治めた豪族関氏の砦をかねた山荘跡です。有名な連歌師宗長などもここを訪れ、歌会を開いていたようです。

8 地蔵院本堂・鐘楼・愛染堂（国指定重要文化財）

741年に、行基菩薩が国中に流行した天然痘から人々を救うために創建したといわれています。

9 東の追分（県指定史跡）

東海道と伊勢別街道の分岐点。大鳥居は、20年に一度の神宮式年遷宮の際に、内宮宇治橋鳥居のご用材を譲り受け、建て替えられています。

10 鹿伏兎城跡（県指定史跡）

関５家のひとつ鹿伏兎氏の居城跡。山頂付近には土塁や石垣などが残っています。

6 於々奈気神社の大クス

（市指定天然記念物）

神社拝殿横にある市域最大のクスの巨樹で、幹回りは約5.2mもあります。

5 宗英寺のイチョウ

（県指定天然記念物）

県下最大級のイチョウの巨樹で、樹齢は600年以上と推定されます。

4 野村一里塚

（国指定史跡）

県下で唯一原形をとどめる一里塚。日本の交通史にとって貴重な史跡です。

3 慈恩寺木造阿弥陀如来立像

（国指定重要文化財）

高さ163cmの一木造で、平安時代初期を代表する彫刻。幾度かの兵火を逃れ、奇跡的に今に伝えられています。

文学で巡る亀山

1 シーボルトと坂下（オオサンショウウオ）

1826年に長崎オランダ商館医師シーボルトが江戸へ向かう途中、坂下でオオサンショウウオを手に入れ、オランダへ持ち帰りました。そして、そのオオサンショウウオとされる図版がシーボルトが著作した『日本動物誌』に掲載されています。

2 志賀直哉と亀山城周辺

小説家の志賀直哉は、1921年から17年の歳月をかけて長編小説『暗夜行路』を執筆しました。この小説は志賀直哉自身をモデルにしており、その中に母の生まれ故郷である亀山を訪れ、亀山駅から亀山城跡などを巡った様子が描かれています。

3 江戸川乱歩と岩屋観音

大正・昭和期に活躍した推理作家の江戸川乱歩は、父の仕事の都合で、幼い時の数年間、南崎町と市ケ坂町に住んでいました。また、初期の代表作『屋根裏の散歩者』は、関町坂下の岩屋観音で重い病気にかかった父の看病をしながら完成させたといわれています。

（平井憲太郎氏 提供）

4 坂口安吾と鈴鹿峠

近代文学の代表的作家である坂口安吾が1947年に発表した短編小説『桜の森の満開の下』は、鈴鹿峠を舞台としています。1975年には、本作を原作とした映画が公開されました。

（新潟市「安吾 風の館」提供）

5 水口文乃と北伊勢飛行場跡

1941年から終戦まで、能褒野町周辺に、陸軍の飛行機操縦士を育成する飛行学校がありました。その飛行学校は、滑走路や飛行機の格納庫なども備えていました。2007年出版の『知覧からの手紙』（著者：水口文乃）には、この北伊勢飛行場が物語の舞台として登場します。

災害に強いまちづくり

全国的に災害の脅威が増す中、被害の軽減のため、自助・共助・公助による防災・減災の取り組みが不可欠となっています。

このような中、亀山消防署北東分署を開署し、消防・救急体制の充実を図るほか、地域防災の中核を担う消防団の充実に取り組んでいます。また、自主防災組織の育成、住宅・建築物の耐震化の促進、ハザードマップの作成、避難行動要支援者の支援体制の整備などを進めています。

このほか、防犯対策や交通安全対策の実施、消費生活の安定・向上に取り組み、安心・安全なまちづくりを進めています。

Efforts to Make Our City More Disaster-Resistant

Nowadays, natural disasters are becoming more common and violent throughout Japan. Therefore, it is now absolutely necessary to take measures for disaster prevention and mitigation by self-help as well as mutual and public help so that we can reduce damage from such disasters.

In reality, we try hard to enhance our fire and emergency services through the establishment of a new branch fire station, namely the Hokuto Branch of Kameyama Fire Station, as well as our support for volunteer fire companies who play a major role in local disaster prevention. At the same time, we also foster volunteer disaster-prevention organizations, promote earthquake safety for buildings including residential houses, create hazard maps, and improve our support system for those who require disaster evacuation assistance.

In addition, we also make continuous efforts to enhance the safety and security in our city by implementing anti-crime and traffic safety measures as well as stabilizing and improving consumers' daily lives.

亀山市のまちづくり

地域住民による防災・減災活動

地域における防災・減災の取り組みを促進し、自主防災組織の育成強化や地域での防災訓練の支援に努めています。

広域連携による災害時相互応援協定の締結

大規模災害時の応急・復旧対策として、岡山県高梁市や青森県五所川原市など他の自治体との広域連携による相互応援を行っています。

避難行動要支援者の支援体制づくり

災害時に高齢者や障がい者などが適切に避難できるよう、避難行動要支援者への支援体制づくりを進めています。

木造住宅耐震化の推進

地震時の建物倒壊等による被害を無くすため、木造住宅の耐震診断や改修・解体を支援し、耐震化を推進しています。

地域の見守り活動

児童・生徒が安全に通学できるよう、ボランティアの協力のもとに登下校の見守り活動を行っています。

消防力の強化

●亀山消防署北東分署の開署

平成27年4月、市北東部地域への火災、救急出動に迅速に対応できるよう、北東分署を開署しました。大規模災害発生時には、広域防災活動の拠点になります。

●亀山市消防山岳救助隊

山岳地帯における登山者の遭難や滑落事故等に備え、山岳や救助に関する経験、知識、技術を有する職員を選抜して発足しました。定期的に行う訓練を通じて、関係機関との連携体制の確立をはじめ、山岳事故発生時における対応力の向上に努めています。

INTERVIEW

将来の消防を支える人材の育成

市内小学校から集まったメンバーが、様々な体験を通じて消防・防災の知識や技能を学んでいます。放水訓練、応急手当・消火器の使い方の習得、防災キャンプの実施など、普段体験できないことばかりで、楽しく活動しています。将来は、消防士や地域の消防団員として活躍し、火災・災害発生時に適切な行動がとれる大人になりたいです。

亀山市少年消防クラブ
山下 和樹さん、堀 栞菜さん

人生100年時代を生きる

生涯にわたり健康に暮らし、安心して医療を受けられるまちの実現を目指しています。三重大学の地域医療学講座を活用するほか、市立医療センターに地域包括ケア病床、訪問看護ステーションを設置し、地域医療の充実に努めています。また、子ども医療費窓口無料化や在宅医療・介護連携なども行っています。

一方、誰もが住み慣れた地域でともに支え合い、ともに暮らせる共助と共生の地域社会の構築を進めています。福祉サービスの向上、相談体制の充実を図るほか、民生委員・児童委員、福祉委員、社会福祉協議会等と連携し、地域共生社会の実現に取り組んでいます。

How to Cope with the "100-Year-Life Society"
We aim at constructing an even better medical system so that people in the city can get secure medical care and live healthily until the end of their lives. We work hard to enrich our local medical services by making use of the lectures on community medicine held by Mie University as well as setting up a home-visit nursing station and beds for community-based comprehensive care at the Kameyama City Medical Center. Besides, we also provide free medical care for children at hospitals as well as home and nursing care.
Meanwhile, we also try to improve our welfare system so that everybody here can give support to and live in harmony with each other. More specifically, we work hard for the realization of a symbiotic local community by enhancing our welfare and consultation services and cooperating with various people and organizations, such as commissioned welfare volunteers including those for children, local welfare keepers and the Kameyama City Social Welfare Council.

亀山市のまちづくり

市立医療センターの機能の強化

市立医療センターに地域包括ケア病床と訪問看護ステーションを設置し、地域医療の充実に努めています。

自立に向けた相談支援

誰もが住み慣れた地域で安心した暮らしを続けられるよう、相談支援、就労支援などの充実に取り組んでいます。

福祉委員の活躍

地域の身近な相談相手として、民生委員・児童委員とともに、見守り訪問やサロン活動を行っています。

在宅医療・介護連携の支援 かめやまホームケアネット

地域包括ケアシステムの実現に向け、在宅生活を支える医療と介護を一体的に推進し、高齢者を地域で支援する体制を構築しています。

地域医療の充実

市立医療センターでは、三重大学の地域医療学講座（寄附講座）を活用して医師を確保し、地域医療の充実に努めています。

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

ひきこもりやごみ屋敷など、支援が困難で、多様化・複合化する課題に、地域住民と取り組む専門家がコミュニティソーシャルワーカーです。平成30年度に配置し、地域における助け合い・支え合いのしくみづくりを支援しています。

INTERVIEW

身近な地域で誰もが介護予防に

行政と協力して、高齢者向けの介護予防教室などを開催しています。最近では、地域の集まりなどに出張しての開催も多く、皆さんの介護予防への意識が増してきています。そうした関心が高まる中、亀山では各団体により介護予防教室や高齢者向けサロン活動などが地域で積極的に展開されており、誰もが気軽に介護予防に取り組める環境にあるのは魅力的だと思います。

（株）リングリングリング
プレミアムDay RinRin
菊池 麻美さん

都市成長を支えるものづくり

交通アクセス性や中部・関西両圏の中間に位置する地理的優位性を生かし、亀山市独自の産業振興奨励制度による企業誘致や市内企業の活性化に取り組んでいます。さらに、近年の新名神高速道路県内区間の全線開通、民間産業団地の新区画造成などにより、今後も多様な産業の集積が期待されます。

一方、農林業をはじめ、ローソクに代表される地場産品や液晶関連産業、自動車関連産業などの多様なものづくりが展開される中、亀山商工会議所などと連携して新たなビジネスの創出を促進するため、創業支援の充実を図っています。

Industries to Support the Development of Our City
By taking advantage of our traffic accessibility and the good middle location of the Chubu and Kansai regions, we make efforts to attract various enterprises to our city and vitalize local companies in the city through our own incentive system for industries. Furthermore, it can be expected that a wider variety of industries will accumulate here due to the recent completion of the construction of the Shin-Meishin Expressway within Mie Prefecture and the extension of the existing private industrial complex.
Meanwhile, we also enhance our support for those who will launch their companies to promote the creation of new businesses in the city in cooperation with the Kameyama Chamber of Commerce and Industry and so on, even though we already have a rich variety of industries, such as agriculture, forestry, and candle, LCD and car manufacturing, here.

亀山市のまちづくり

内陸工業都市の形成

交通の利便性や災害に強い内陸部等の好条件の下、民間産業団地への立地企業も増え、事業活動が活性化しています。

官民連携による積極的な企業誘致

独自の産業振興奨励制度等により、多様な産業集積が図られています。

カメジョブ キッズ

子どもたちが、働くことの意味ややりがい、地域産業などを学ぶ職業体験事業を支援しています。

創業支援機関との連携

市内での創業予定者や創業後間もない事業者に、セミナーの開催や融資にかかる利子補給等の支援を行っています。

地域雇用の促進

地域産業の振興のため、市内事業所と連携し、県内高校生を対象に、求人懇談会を開催しています。

公共交通ネットワークの強化

●コミュニティ系バス等

自立した移動手段を持たない市民の移動を支えるため、「さわやか号」をはじめとするコミュニティ系バス等の効率的・効果的な運行を行っています。

●かめやまのりあいタクシー のりかめさん

平成30年10月から、新たな地域公共交通サービスとして運行しています。

自宅近くの停留所から公共施設、鉄道駅、医療機関等の特定目的地まで、乗合タクシーで送迎します。身近な交通手段として、高齢者を中心に、広くご利用いただいています。

INTERVIEW

さまざまな制度で創業者を支援

亀山の風土に魅力を感じて北海道から移住し、レストランを開業。創業にあたり亀山商工会議所の創業相談を利用し、事業計画の書き方や仕入れのこと、開業後の補助金などの支援をいただきました。亀山市には、他にも空き店舗等活用支援事業補助金など、創業する人の助けになる支援制度がいろいろあります。ぜひ活用してほしいですね。

トラットリア イル テルノ
佐藤 明子さん、大隆さん

持続可能な環境の創造と継承

多様な廃棄物の適正処理と再資源化、溶融飛灰の山元還元により最終処分量ゼロを継続し、環境への負荷の低減に取り組んでいます。

亀山市環境保全条例や亀山市水道水源保護条例等の条例を制定するほか、鉱物資源を守るため鉱区禁止地域の指定を受けるなど、環境保全に積極的に取り組んでいます。また、快適な水環境をつくるため下水道の整備を進めるほか、森林・里山・農地等の自然環境の保全や自然との共生にも取り組んでいます。

近年では環境保全などの市民活動が根づいてきており、まち全体で環境の創造と継承を進めています。

Creation and Conservation of a Sustainable Natural Environment

We are working to reduce environmental burdens through appropriate disposal and recycling of varies wastes and continuing zero final disposal amounts by resource recovering fly ashes at the waste treatment facility.

For environmental conservation, we are also active in enacting environment-related ordinances, such as the Basic Environment Ordinance and the Water Source Protection Ordinance, and receiving designation as a mining prohibition area. Besides, we also work on the extension of our sewerage system for the creation of a better water environment and on the conservation of natural resources, including forests and farmland, as well as on the promotion of coexistence with nature.

Nowadays, civic activities for environmental conservation are becoming more common. As citizens of Kameyama City, we will all continue our efforts for the creation and conservation of a sustainable natural environment.

亀山市のまちづくり

市民団体等との取り組み

環境関連団体と連携した自然環境の保全および活用、レジ袋削減や食品ロス削減などに取り組んでいます。

環境学習の場「里山塾」

亀山里山公園みちくさ管理運営協議会と協働して、季節を通して自然を学ぶ「里山塾」を実施しています。

刈り草のコンポスト化

道路・河川の管理等で発生した刈り草は、民間事業者に運営移譲した施設で堆肥化し、農業等へ循環しています。

環境活動ポイント制度（AKP）

市民参加型のポイント制度（オール亀山ポイント）を創設し、省エネ・省資源行動や環境活動を促進しています。

鉱区禁止指定地域

市西部の森林地域と関宿周辺地域の自然環境が鉱物採掘により破壊されないよう、鉱区禁止地域の指定を受けています。

ゼロ・エミッションの取り組み

●循環型社会の構築に向けた廃棄物処理

ガス化溶融炉による適正処理や再資源化、旧最終処分場埋立ごみの掘り起こし処理など、安心・安全で持続可能な廃棄物処理に取り組んでいます。また、廃棄物処理施設の長寿命化を進めています。

●溶融飛灰の山元還元

溶融飛灰に含まれる亜鉛等の重金属を「山元還元」方式で抽出し、再資源化しています。

●廃プラスチック類などの適正処理

事業活動で生じた廃プラスチック類などを、家庭ごみ等の処理に支障を及ぼさない範囲で受け入れて処理しています。

INTERVIEW

豊かな自然環境をいつまでも

鈴鹿川水系の河川やため池などで、在来の生き物が暮らせる環境を守るため、「水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座」や「亀山の自然環境を愛する会」と協力し、調査・保全・普及活動に取り組んでいます。里山塾や池干し、河川での自然観察会などを行っており、2019年には3団体で「日本自然保護大賞　教育普及部門」を受賞しました。これからも、豊かな自然環境を次世代に引き継げるように活動を続けていきたいです。

魚と子どものネットワーク
代表　新玉 拓也さん

学ぶ喜び、いつまでも溢れる

すべての子どもたちに学ぶ意欲と確かな学力を育むために、個の学び支援や少人数教育等によるきめ細やかな教育を実施しています。また、生涯学習の機会の充実にも取り組んでいます。

一方、文化によって市民が心豊かな生活を営み、スポーツを楽しむことで生涯にわたり健康で充実した生活を送ることができるまちを目指しています。亀山城周辺や関宿などの重要な歴史文化資産の保存・整備・活用や、祭り、伝統工芸などの継承に努めるほか、かめやま文化年や市民ミュージカルなどの文化活動により、まちの豊かさが高まっています。

Joy of Lifelong Learning
We provide well-rounded education to all children through individual learning support, small-group learning and so on in order to surely foster their motivation for learning and academic skills. In addition, we also increase lifelong learning opportunities for our citizens.
Meanwhile, we aim at making our community even more livable so that our citizens can live happy and healthy lives through culture and sports until the end of their lives. We also make efforts to preserve, maintain and take advantage of our historical and cultural properties in Seki-juku and around Kameyama Castle as well as to hand down our festivals and traditional crafts through generations. Moreover, we also increase our citizens' happiness through cultural activities, such as the Kameyama Bunkanen Project and civic musicals.

亀山市のまちづくり

学習環境の向上

改築工事が完成した川崎小学校。市内小・中学校の子どもたちが安全で快適な学校生活を送れるよう、学習及び生活環境整備を進めています。

少人数教育の推進

1 学級 35 人以上の過密学級を解消したきめ細やかな教育の充実のため、市独自の少人数教育推進教員を配置しています。

幼児教育共通カリキュラムの実施

就学前の一貫した教育の実現と円滑な小学校への就学に向け、幼児教育共通カリキュラムに取り組んでいます。

市民レベルの文化活動の振興

芸文祭や現代アートなど、市民レベルの文化芸術活動の機会の充実を図り、新たな文化創造につなげています。

かめやま人（びと）キャンパスの開講

実践的な講座等での学びの成果を生かして地域で活躍できる人材を育む新しい学びの仕組みづくりを進めています。

かめやま文化年プロジェクト

イメージキャラクター
カメのぶんちゃん

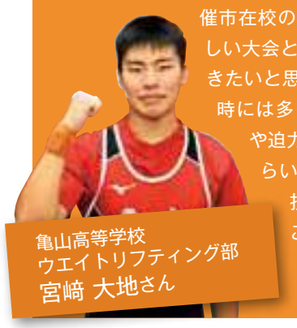
「いせのくに亀山・文化創造都市」の実現を目指して、3 年に 1 度開催する文化の祭典です。2014 年、2017 年に実施し、2020 年に 3 回目を開催します。

地域で受け継がれてきた文化や新しく創造された文化など、様々な文化を通じて地域の魅力に触れていただく機会をつくり、愛着と誇りが持てるまちづくりを目指しています。

INTERVIEW

亀山で国体が開催される喜び

日々練習に取り組み、2021 年に亀山市で開催される三重とこわか国体ウエイトリフティング競技への出場、そして優勝を目指しています。一方で、開催市在校の高校生として、素晴らしい大会となるよう盛り上げていきたいと思います。そして、大会時には多くの方に会場で臨場感や迫力、高揚感を味わってもらい、また開催を契機に競技がより亀山に根づくことを願っています。



亀山高等学校
ウエイトリフティング部
宮﨑 大地さん

まちの未来を創る 6　子育て・定住

住めば悠々（ゆうゆう）、ゆったり子育て

安心して子育てができるよう、子育て世代包括支援センターを開設するほか、市内各所の子育て支援センター、地域の子育てサロンなど、地域住民と子育て世帯の交流の場を充実させ、地域全体で子育て世帯を見守っています。

一方で、仕事と子育てを両立できるよう、保護者の就労形態やニーズに応じた保育サービスの提供、放課後や夏休み等長期休暇中の児童の居場所づくりなどに取り組んでいます。

また、専用サイトでの市の魅力の発信、移住希望者への情報提供や支援などに努め、子育て世帯の定住を促進しています。

Child-Raising in the Relaxing Living Environment of Our City

We support families with children in cooperation with the whole community by setting up the Comprehensive Support Center for Parents Raising Children to assist our citizens in child-raising without anxiety as well as by enriching the quality and quantity of child-raising support centers and child-raising salons throughout the city to foster communication between parents with children and local residents.

Meanwhile, we also assist parents with children to balance work and child-raising by providing childcare services not only for their preschool children, but also for their school children after school or during summer vacation, etc. according to their work styles and needs.

In addition, we also transmit a variety of information through our website to help people discover the attractiveness of our city and provide useful information and support for those who are interested in moving to the city so that more families with children will settle down here.

亀山市のまちづくり

子どもたちの居場所づくり

放課後児童クラブや夏休み等長期休暇中の「子どもの居場所」など、保護者が安心して就労等ができる環境整備に努めています。

げんきっこ育成事業

乳幼児の運動や食、生活リズムによる体づくりに取り組むほか、豊かな心を育む絵本の読み聞かせなどを行っています。

移住交流の促進

亀山市への移住希望者に、住まい・就労・子育て等の情報提供、市内案内、移住フェア・相談会を行っています。

子育て世帯を包括的に支援

子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期の相談に応じています。

新たな保育と教育のカタチ 認定こども園

幼稚園と保育所の良さを併せ持ち、保護者の就労状況やニーズに応じた多様な保育サービスを提供しています。

「住めば、ゆうゆう。亀山」まちの多彩な魅力や情報を発信！

「暮らしたいまち」「訪れたいまち」として市内外の人から選ばれることを目的に、定住や移住を促進するシティプロモーションに取り組んでいます。

シティプロモーション専用ホームページでは、お出かけに便利なイベント情報や個性ある亀山暮らしの紹介記事を掲載したり、亀山のいいなと思うところを写真付きで紹介する「フリップサポーター」に登場していただいたり、亀山の多彩な魅力や情報を発信しています。

専用ホームページはコチラ

INTERVIEW

地域全体で子育てを応援

移住してきて驚いたのが、中学３年生までの医療費無料と医療機関の窓口での支払いが無いこと、３人目以降の子どもの出生祝金など、子育てに対する支援の手厚さです。また、緑のある公園が多く、子育て支援センターでは子ども同士が触れ合う催しがたくさんあり、子連れで出掛けると街の人が声を掛けてくれて人の温かみを感じるなど、いい環境で子育てができています。

奈良県からの移住者
米岡 賢さん、里穂さん、伊織ちゃん

市民力・地域力が輝く

地域の多様な主体を包括した地域まちづくり協議会が市内全域に設立され、地域の特性を活かしたまちづくりが進められています。

また、様々な分野で市民活動や交流が活性化しており、「市民力・地域力が輝くまちづくり」が進んでいます。

さらに、地域、学校、家庭など、あらゆる場面で共生社会の実現に向けて取り組んでいます。ヒューマンフェスタの開催、ワーク・ライフ・バランス推進週間の設定、多文化共生の推進などにより、人権を尊重し合い、誰もが多様性を認め合いながら共に暮らせるまちづくりを進めています。

Vigorous Civic and Local Efforts

We work on the development of each area of our city by setting up local development councils throughout the city, each of which consists of a variety of local residents in the area, as well as by taking advantage of local strength and attractiveness.

Besides, our citizens are becoming more active in conducting civic activities and fostering interactions with one another in various different fields to "make the city even more vibrant with civic and local efforts."

Furthermore, we also work hard for the realization of a symbiotic community, where people with different backgrounds can coexist in harmony in their area as well as at school and home. More concretely, we hold human rights promotion events, such as the "Human Festa," designate certain weeks as the "Work-Life Balance Promotion Weeks," and promote multicultural symbiosis in order to make our city more respectful of human rights and diversity among people for harmonious coexistence.

亀山市のまちづくり

協働事業提案制度

市民と行政が多様なアイデアを提案し、協働して実施していくための制度を設けています。

市民活動応援制度

様々な分野で活動する市民活動団体を、市民が応援券を活用して応援する制度を設けています。

多文化共生の推進

市内に多い外国籍住民への日本語や生活習慣等を学ぶ機会の提供や、学校への通訳や相談員の配置などを行っています。

「ヒューマンフェスタ in 亀山」の実施

毎年 12 月に、人権に取り組む団体との交流、中学生の作文の発表や高校生等のスピーチなどの場を設けています。

ワーク・ライフ・バランス推進週間の実施

ワーク・ライフ・バランス推進週間に文化・運動施設の開放や優良事業所の紹介などを行い、仕事と生活の調和を促進しています。

地域まちづくり協議会の設立

新たな地域自治の形として、自治会、老人会、PTA、市民活動団体など様々な主体から構成される「地域まちづくり協議会」が、平成 28 年 5 月に市内全域に設立されました。地域課題に地域で考え取り組む、自立したまちづくり活動が展開されています。

市では、地域予算制度の創設や地域担い手研修の開催などを通じて、地域で課題解決に取り組む活動を支援しています。

INTERVIEW

若い発想力で亀山を盛り上げる！

若者の“チカラ”で亀山に元気を生みだすことを目指し、20 代～ 30 代のメンバーで活動しています。まちづくりについて話し合ったり、市内行事に参加したりするほか、亀山の魅力を感じられる催しを実行し、地域を盛り上げようと取り組んでいます。このような体験を通じて、若い世代の人がまちづくりに関心を持ち、参画する機会がもっと増えればと望んでいます。

かめやま若者未来会議
松田 由希さん

市民に身近な開かれた議会へ

亀山市議会は、市民の代表として選挙で選ばれた18名の議員で構成され、同じく選挙で選ばれた亀山市長とともに市の代表機関です。

地方が主体となる新しい地方自治の時代を迎え、市議会の果たす役割と責任は、ますます重要になってきています。

そこで、二元代表制のもと、市政の一翼を担う市議会として、行政の監視機能と、自らの政策形成機能を強化していかなければなりません。

また、議会は、市民のための議会であることが市民からの負託の原点であり、そのために、市民ニーズを的確に把握し、諸施策の更なる充実が図られるよう取り組んでいます。

議会は、年４回の定例会と、必要に応じ臨時会を開催しています。そして、「総務委員会」、「教育民生委員会」、「産業建設委員会」、「予算決算委員会」の４つの常任委員会を設置し、必要に応じて専門的な調査・研究を行う特別委員会が設置されます。

これらの議会活動については、ケーブルテレビとインターネットで会議の様子や議会報告番組を放映しているほか、議会だよりやホームページでもお知らせしています。

Efforts to Make the City Assembly Open to the Public

The Kameyama City Assembly, consisting of 18 elected members, represents the citizens of Kameyama City, along with the mayor who too is elected through an election.

With the coming of the age of local autonomy, the assembly is now expected to play more and more significant and responsible roles.

Under the dual representation system, the assembly, which plays an important part in municipal government, must strengthen its functions to supervise the administration and shape municipal policies.

Besides, the members of the assembly work on the enrichment of their policies by correctly understanding the needs of the citizens because they are elected with a mandate to serve the public interest.

Every year, the assembly holds not only four regular sessions but also extraordinary sessions if needed. In addition, it establishes four standing committees, namely the "General Affairs Committee," the "Education and Livelihood Committee," the "Industrial Construction Committee " and the "Budget and Audit Committee," as well as a special committee to conduct specialized research and study if necessary.

We provide details on such activities of the assembly by broadcasting its sessions and programs made to publicize its official reports on the Internet and cable television as well as by offering information on its activities through our official website and periodical publications.

継続的な議会改革を推進しています

平成22年8月に議会基本条例を施行した後、「議会改革推進会議」および「検討部会」を設置し、様々な議会改革に取り組んでいます。

「見える議会」を推進しています

議会の公開性と透明性の向上に努め、市民に身近で信頼される議会となるよう、議会活動の情報発信の充実に努めています。

亀山市名誉市民

彫刻家 中村 晋也（なかむら しんや）

私は、大正15年にこの地で生まれ、今年の7月には94歳になります。令和になった今も、現役の彫刻家であることに感謝しながら作品制作の日々を過ごしています。

現在は、奈良薬師寺に奉納する「釈迦八相像」の最終場面、「苦行」を制作中です。そして次なる目標は、故郷の皆さんに喜ばれる作品を作ることです。それが、私にできる故郷への恩返しだと思っています。

彫刻家　**中村 晋也**　なかむらしんや

1926（大正 15）年生まれ。2歳から 22歳まで三重県鈴鹿郡井田川村（現亀山市）に在住。東京高等師範学校（現筑波大学）卒業後は、鹿児島を拠点に精力的に作品づくりに取り組まれている。特に、1995（平成７）年に発生した阪神淡路大震災被災者の鎮魂のために制作を始められた「ミゼレーレ」シリーズや「釈迦十大弟子」像、そして現在制作中の「釈迦八相像」は、造形対象をより深く掘り下げた精神性を帯びた芸術の真髄ともいえる代表作で、常に変化し続ける独創的な作風と、その優美な芸術性は、国内外で高く評価されている。2007（平成 19）年文化勲章受章。2009（平成 21）年亀山市名誉市民。

Honorary Citizen
Sculptor　Nakamura Shinya

I was born here in Kameyama in 1926 and will turn 94 this July. Even in the Reiwa era, I still spend my days creating sculptural works while feeling grateful for being able to be active as a sculptor. At the moment, I am engaged in the creation of a sculpture depicting "ascetic training" (*kugyo*), which forms the last part of my artwork titled *The Sculptures Depicting the Eight Phases of Buddha's Life* (*Shaka-Hasso-Zo*) created as an offering to Yakushiji Temple in Nara Prefecture. On top of that, my next goal is to create a great piece of art to please people in my hometown in return for all the kindness they have shown to me.

作品紹介「ふるさとあい」市広報に連載

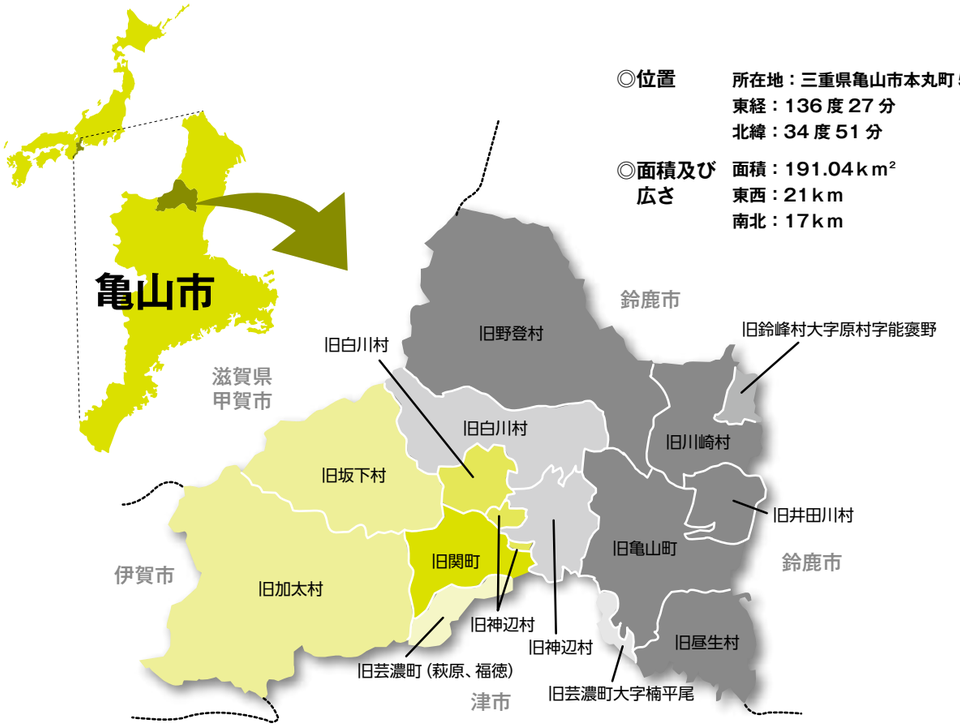
毎月１日発行の「広報かめやま」で、中村晋也さんの作品を紹介。偉大な功績を有する中村晋也さんを輩出した亀山に誇りと愛着を感じてもらうための契機として、2016年より連載を開始し、これまで43作品を紹介しています。

亀山市美術展 ～特別展～

2018年２月に市文化会館で開催された「亀山市美術展～特別展～」において、中村晋也さんの作品を展示。明治150年にちなみ、大久保利通像や篤姫像など明治維新にゆかりのある作品６点が出展されました。

亀山市市制施行15周年

市勢要覧 資料編



◎位置　所在地：三重県亀山市本丸町 577 番地
東経：136 度 27 分
北緯：34 度 51 分

◎面積及び広さ　面積：191.04ｋｍ²
東西：21ｋｍ
南北：17ｋｍ

旧関町

- 明治 22.4.1 町制施行
- 昭和 30.2.1 旧神辺村及び旧白川村の区域を編入
- 昭和 30.4.17 旧加太村及び旧坂下村の全域を編入
- 昭和 33.4.1 旧芸濃町のうち萩原、福徳を境界変更

旧亀山市

- 昭和 29.10.1 市制施行
- 昭和 30.2.1 旧白川村及び旧神辺村の区域を編入
- 昭和 32.4.1 旧鈴峰村大字原村字能褒野の区域を編入
- 昭和 33.4.1 旧芸濃町大字楠平尾の大部分を編入

三重県の北中部に位置

総面積は 出典：全国都道府県市区町村別面積調（令和元年）

191.04km²

東西方向の長さは約 21km、南北方向の長さは約 17km

主要都市からのアクセスに優れたまち

名古屋から 約 **50km**

大阪から 約 **100km**

県内の主要都市である津市や四日市市、鈴鹿市からは 20km 圏内に位置する。

15th

現在の亀山市が誕生した日

平成17年1月11日

令和２年１月 11 日で新市施行 15 周年を迎えました。

温暖で暮らしやすい気候

年間平均気温は 出典：気象庁データ（平成 30 年）

15.8℃

冬季の（平成 30 年１月）**平均気温は 3.4℃**

歴史・ひと・自然が心地よい　緑の健都　かめやま

若い世代が多く、生産年齢人口割合が比較的高い

人口・世帯数 出典：住民基本台帳（令和元年 12 月 1 日現在）

49,737人、21,620世帯

年齢別人口割合は、
年少人口（0 歳から 14 歳）が 14.0%、生産年齢人口（15 歳から 64 歳）が 59.4%、
老年人口（65 歳以上）が 26.6%、1 世帯あたり平均世帯人数は 2.3 人

外国籍住民数は

2,099人

総人口に占める割合

4.2%

就業構造 出典：国勢調査（平成 27 年）

多様な産業が集積

産業別就業人口は

第３次産業が 54.6%

次いで 第２次産業が 37.6%

第１次産業が 2.9%

全国・県平均と比較して、第２次産業の占める割合が高い。

地目別民有地割合 出典：三重県統計書（平成 30 年）

最も多いのは、山林

50.3%

次いで
田畑 26.0%、
宅地 13.2%、
その他 10.5%

住みよさランキング

出典：都市データパック 2019（東洋経済新報社）

県内市 2位

全国 **98**位 / 812市区

次世代を担う子どもたちも元気！

年少人口割合

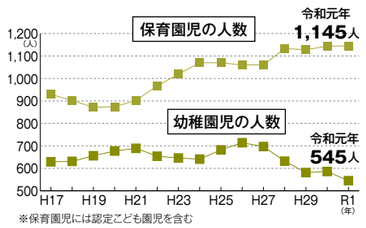
県内市 1位

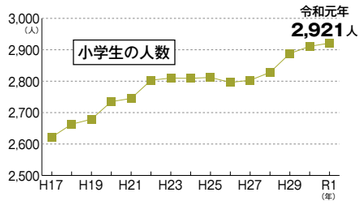
13.8%

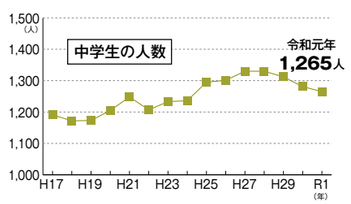
出典：三重県「推計人口」（平成 30 年 10 月 1 日現在）

平成 17 年から令和元年の園児・児童・生徒の増加率は

保育園児・幼稚園児が	小学生が	中学生が
9.2%	**11.4%**	**6.2%**







資料：子ども未来課、学校基本調査

ものづくり産業が活発！

従業者 1 人当たり製造品出荷額等

県内1位 全国31位

1億217万円

（工業統計調査（平成 30 年）より算出）

電子部品・デバイス・電子回路製造業製造品出荷額等

全国２位

4,789億円

出典：工業統計調査（平成 30 年）

財政も健全！

県内市 2位

財政力指数 0.920

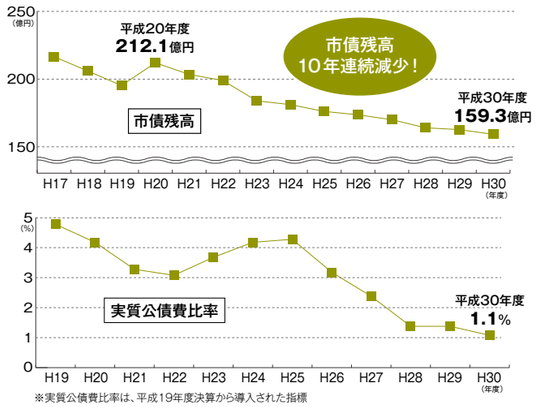
出典：三重県公表数値（平成 30 年度）

県内市 2位

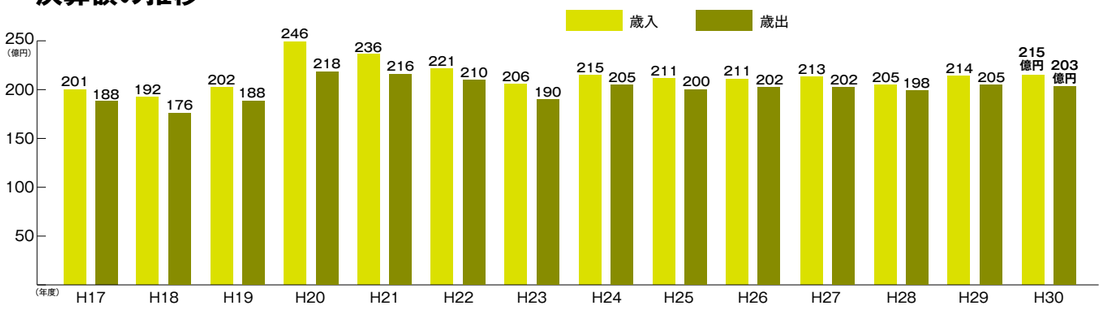
自主財源比率 62.3%

（市町村別決算状況調（平成 30 年度）より算出）

市債残高・実質公債費比率



決算額の推移



数字で見る市民の暮らし	出 生	家族構成	死 亡	結 婚
	1日に 1.14人（平成 30 年）	1世帯あたり 2.30人	1日に 1.43人（平成 30 年）	2.31日に 1組（平成 30 年）
離 婚	**転入転出**	**議 員**	**教 員**	**市職員**
4.74日に 1組（平成 30 年）	転入 1日に 7.76人 転出 1日に 8.24人（平成 30 年）	市民 2,763人に 1人	小学生 11人に1人 中学生 11人に1人（令和元年 5 月）	市民 85人に 1人 消防職・医療職等を含む（平成 31 年 4 月）
交通事故	**救 急**	**火 災**	**刑法犯罪**	**人口密度**
人身事故 1日に 0.2件 物損事故 1日に 3.6件（平成 30 年）	1日に 6.3件（平成 30 年）	13.5日に 1件（平成 30 年）	1日に 0.8件（平成 30 年）	260人/km²

令和元年 12 月現在

亀山の15年を振り返って

2005
平成17年

1月11日　亀山市と関町が合併し新「亀山市」が誕生
2月5日　合併後初の亀山市長選挙の執行、田中亮太氏が市長に就任
3月13日　東名阪自動車道・亀山ＩＣから伊勢自動車道・伊勢関ＩＣまでの直結線が開通
3月29日　亀山市の市章を発表

2006
平成18年

1月19日　市の花が「花しょうぶ」、市の木が「杉」に決定
5月1日　亀山里山公園「みちくさ」がオープン
9月14日　「鈴鹿関」西城壁が、聖武天皇が整備した瓦ぶきの「築地塀」と判明
10月1日　ご当地ナンバーとして、「鈴鹿ナンバー」がスタート

2007
平成19年

4月1日　第1次亀山市総合計画がスタート
4月1日　一般会計予算（平成19年度）が200億円を超える
4月1日　「市民協働センター」がオープン
4月15日　三重県中部を震源とする地震が発生し、亀山市で最大震度5強を観測
10月23日　太岡寺町の国道1号に名阪国道と直結する「大阪方面ランプ（入り口）」が完成
11月5日　国指定天然記念物ネコギギの生息確認の公表

2008
平成20年

2月21日　亀山市人口5万人を達成
2月23日　新名神高速道路・亀山ＪＣＴから草津田上ＩＣまで（49・7㎞）が開通
3月1日　市立医療センターと市内開業医が協力し、夜間時間外応急診療を開始
3月23日　名阪国道から太岡寺町の国道1号への直結連絡路が完成

2009
平成21年

1月19日　亀山市歴史的風致維持向上計画が、「歴史まちづくり法」施行後、国の第1号認定を受ける
2月6日　亀山市長選挙の執行、櫻井義之氏が市長に就任
3月25日　告別式場を備えた亀山市斎場がオープン
4月1日　「亀山市情報公開条例」の改正
10月1日　子ども医療費助成を義務教育終了まで引き上げ
10月1日　中部中学校でデリバリー給食の開始（平成23年度には亀山中学校で開始）
12月17日　文化勲章受章者・彫刻家の中村晋也氏を名誉市民に決定

亀山市斎場

人口５万人達成記念式典

「市民協働センター」がオープン

亀山里山公園「みちくさ」

市章（デザイン者：坂井秀行さん）

2010
平成22年

1月11日　市制施行5周年記念式典の開催
1月18日　全国都市サステナブル（持続可能）度ランキング調査（日本経済新聞社）で首位
4月1日　「亀山市まちづくり基本条例」の施行
4月30日　「家族の時間づくりの日」の開始
7月9日　市西部の森林地域などが鉱区禁止地域に指定
7月13日　ＷＨＯ（世界保健機関）健康都市連合に加盟

2011
平成23年

3月5日　亀山東幼稚園園舎改築工事の完成
3月11日　東日本大震災の発生により、被災地への職員派遣の支援活動を実施
3月20日　亀山中学校校舎改築工事の完成
3月26日　関中学校校舎改築工事の完成
3月31日　全国初のITを活用した「亀山市史」の完成
4月1日　亀山森林公園「やまびこ」がオープン
6月1日　三重大学・亀山地域医療学講座（寄附講座）の協定締結
9月25日　「中日本・東海Ｂ－１グランプリ in 豊川」で、亀山みそ焼きうどん本舗がゴールドグランプリ獲得

2012
平成24年

3月26日　ＪＲ井田川駅前の整備工事の完成
4月1日　第1次亀山市総合計画・後期基本計画がスタート
4月17日　岡山県高梁市と災害時相互応援協定を締結
7月10日　青森県五所川原市と災害時相互応援協定を締結
9月30日　台風17号による豪雨で、家屋の床下・床上浸水や道路・河川・農業用施設に被害が発生

2013
平成25年

4月7日　亀山城多門櫓「平成の大修理」の完成
10月1日　市民活動応援制度「えがおカード」の開始
10月17日　「中部歴史まちづくりサミット」の開催
12月16日　「ご当地ラーメングランプリ２０１３」で、亀山ラーメンがグランプリ獲得

2014
平成26年

3月30日　市道和賀白川線「忍山大橋」の開通
4月1日　「亀山市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の施行
5月1日　亀山駅周辺市街地総合再生基本計画の策定
5月10日　「かめやま文化年」プロジェクトの開始
8月9日　台風11号の影響で、亀山市に初めて「大雨特別警報」が発表
8月16日　ＮＨＫ夏期巡回ラジオ体操の生放送
12月13日　関宿重要伝統的建造物群保存地区選定30周年記念シンポジウムの開催

市制施行５周年記念式典

寄附講座設置協定書調印式

整備されたJR井田川駅前

中部歴史まちづくりサミット

忍山大橋

2015
平成27年

1月11日　市制施行10周年記念式典の開催
1月13日　ご当地ナンバープレート（原付バイク）の交付
2月22日　かめやまホームケアネットの本格稼働
4月1日　亀山消防署北東分署の開署
5月30日　20年に一度の「東海道関宿 東追分一の鳥居お木曳き」
6月14日　ＮＨＫ「のど自慢」の公開生放送
10月1日　ウェルカメ（プレミアム付き）商品券の使用開始

2016
平成28年

4月1日　市立医療センターの経営形態を変更し、病院事業管理者を設置
4月1日　市内初認定こども園（関認定こども園アスレ）の開設
4月25日　「２０１６年ジュニア・サミット in 三重」で、Ｇ7各国の高校生が関宿を訪問
5月13日　かめやま若者未来会議～わかめ～の立ち上げ
5月15日　「地域まちづくり協議会」が市内22地区すべてに設立

2017
平成29年

4月1日　第2次亀山市総合計画がスタート
4月1日　市立医療センターで地域包括ケア病床の開設
7月12日　大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定の調印
7月14日　「亀山市立図書館整備基本構想」の策定
10月22日　台風21号の影響による法面崩壊等でＪＲ関西本線が翌年1月まで運転見合わせ

2018
平成30年

3月20日　亀山・関テクノヒルズの新分譲区画造成工事の完成
3月27日　亀山駅周辺2ブロック地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定
4月1日　ＣＳＷ（コミュニティソーシャルワーカー）による地域での支え合いの仕組みづくりを開始
8月2日　全国高等学校総合体育大会（インターハイ）
～6日　ウエイトリフティング競技大会の開催
10月1日　「かめやまのりあいタクシー のりかめさん」の運行開始

2019
平成31年・令和元年

3月10日　川崎小学校校舎改築工事の完成
3月17日　新名神高速道路・新四日市ＪＣＴから亀山西ＪＣＴまで（約23㎞）が開通
3月29日　「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」の制定
7月6日　「関の山車会館」がオープン
7月19日　市道野村布気線と一般県道亀山関線が開通
12月21日　新名神高速道路・亀山西ＪＣＴの名古屋・伊勢ランプウェイの完成

「のど自慢」公開生放送

Ｇ7各国の高校生が関宿を訪問

特産品相互取扱協定調印式

西野公園体育館で開催のインターハイ

川崎小学校

特別職

1 歴代議長・副議長

議長		
氏名	就任	退任
森　淳之祐	H17. 1.21	H17.11. 4
小坂　直親	H17.11. 4	H18. 1.23
竹井　道男	H18. 1.23	H18.10.31
葛西　豊	H18.11.14	H19.11.12
大井　捷夫	H19.11.12	H20.11.11
小坂　直親	H20.11.11	H21.11.11
水野　雪男	H21.11.11	H22.10.31
大井　捷夫	H22.11.12	H23.11.11
小坂　直親	H23.11.11	H24.11. 9
櫻井　清蔵	H24.11. 9	H25.11. 8
宮崎　勝郎	H25.11. 8	H26. 6.10
前田　耕一	H26. 6.10	H26.10.31
前田　稔	H26.11.13	H27.11.13
前田　耕一	H27.11.13	H28.11.11
中村　嘉孝	H28.11.11	H29.11.14
西川　憲行	H29.11.14	H30.10.31
小坂　直親	H30.11.12	

副議長		
氏名	就任	退任
小坂　直親	H17. 1.21	H17.11. 4
宮崎　伸夫	H17.11. 4	H18. 1.23
増亦　肇	H18. 1.23	H18.10.31
大井　捷夫	H18.11.14	H19.11.12
池田　依子	H19.11.12	H20.11.11
松上　孝	H20.11.11	H21.11.11
宮村　和典	H21.11.11	H22.10.31
宮崎　勝郎	H22.11.12	H23.11.11
片岡　武男	H23.11.11	H24.11. 9
坊野　洋昭	H24.11. 9	H24.12.17
前田　稔	H24.12.21	H25.11. 8
前田　耕一	H25.11. 8	H26. 6.10
中村　嘉孝	H26. 6.10	H26.10.31
鈴木　達夫	H26.11.13	H27.11.13
岡本　公秀	H27.11.13	H28.11.11
森　美和子	H28.11.11	H29.11.14
岡本　公秀	H29.11.14	H30.10.31
中﨑　孝彦	H30.11.12	R 1.11.12
新　秀隆	R 1.11.12	

2 歴代市長・副市長・収入役・教育長・病院事業管理者

市長		
氏名	就任	退任
田中　亮太	H17. 2. 6	H21. 2. 5
櫻井　義之	H21. 2. 6	

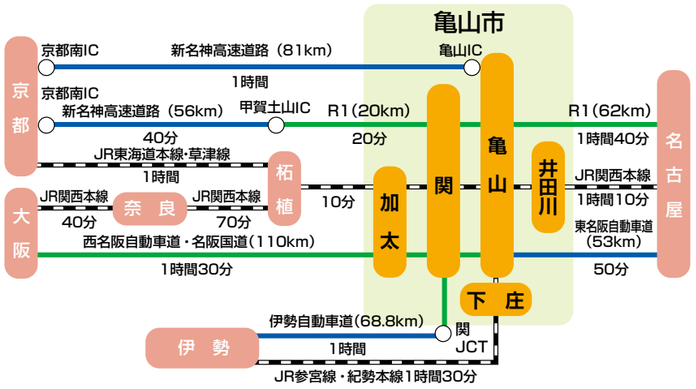
副市長		
氏名	就任	退任
小坂　勝宏	H17. 2.22	H22. 3.31
(H17.2.22 ～ H19.3.31 は助役)		
安田　正	H22. 4. 1	H26. 3.31
広森　繁	H26. 4. 1	H30. 3.31
西口　昌利	H30. 4. 1	

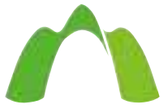
収入役		
氏名	就任	退任
草川　徹	H17. 2.22	H21. 2.21

教育長		
氏名	就任	退任
森下　文勝	H17. 1.11	H17. 2.21
伊東　靖男	H17. 2.22	H23. 2.21
伊藤ふじ子	H23. 2.22	H28. 3.31
服部　裕	H28. 9. 1	

病院事業管理者		
氏名	就任	退任
伊藤　誠一	H28. 4. 1	

I N F O R M A T I O N





市章

亀山市の特徴である豊かな自然や歴史文化を守り、さらに高めていく姿を大きな山並みとして表し、曲面（ウェーブ）はときめく亀山市の限りない発展を表しています。

市の木

市の木「杉」は、野登寺の杉並木や川俣神社、片山神社のご神木の杉など、市内を代表する歴史的な背景を持つ史跡とともに、古くからなじまれてきた木です。

市の花

市の花「花しょうぶ」は、亀山公園内の菖蒲園に100種12,000株の花が咲き誇り、毎年６月には「花しょうぶまつり」が開かれるなど、なじみ深く親しみのある花です。

亀山市

〒519-0195　三重県亀山市本丸町 577 番地
TEL　0595-82-1111（代表）　FAX　0595-82-9955
URL　https://www.city.kameyama.mie.jp